

一般社団法人 日本糖尿病学会
2024 年度 事業報告
(2024 年 4 月 1 日-2025 年 3 月 31 日)

I. 糖尿病に関する調査及び研究(定款 第 5 条 第 1 号)

- 1) 糖尿病関連検査の標準化に関する調査検討
- 2) アンケート調査による日本人糖尿病の死因に関する研究
- 3) 糖尿病治療に関連した重症低血糖の調査
- 4) 膵・膵島移植に関する調査研究
- 5) インクレチン薬治療のヒト膵腫瘍発生リスクに関する臨床病理学的研究
- 6) 食事療法に関する研究
- 7) 診療録直結型全国糖尿病データベース事業(J-DREAMS)
- 8) 1 型糖尿病における新病態の探索的検討に関する調査研究
- 9) 単一遺伝子異常による糖尿病の実態解明と診療指針の作成
- 10) 我が国における 1 型糖尿病の実態の解析に基づく適正治療の開発に関する研究
- 11) 2 型糖尿病に対する厳格な多因子介入が血管合併症と生命予後に及ぼす長期的な影響の検討(J-DOIT3)
- 12) レジストリ作成を通じた糖尿病をきたす希少疾患の治療標準化研究
- 13) 急性期病院における糖尿病専門医の役割の解析:DPC データの解析
- 14) 日本人 1 型糖尿病の包括的データベースの構築と臨床研究への展開(TIDE-J)

II. 糖尿病に関する学術講演会、討論会及び研究会の開催(定款 第 5 条 第 2 号)

1. 第 67 回年次学術集会

会長 植木 浩二郎(国立国際医療研究センター研究所)
会期 2024 年 5 月 17 日(金)-19 日(日)
会場 東京国際フォーラム、JP タワーホール&カンファレンス、
東京商工会議所ホール&カンファレンス+WEB 開催
オンデマンド配信: 2024 年 5 月 17 日(金)-6 月 28 日(金)
参加者 12,975 名

○学会賞受賞講演

ハーゲドーン賞 小川 渉「インスリン抵抗性を軸とした糖尿病研究」
リリー賞 高原 充佳「糖尿病合併症としての末梢動脈疾患の臨床像と病態の解明」
長尾 元嗣「新規糖尿病モデルマウスの開発による
2 型糖尿病の病態生理の解明」
女性研究者賞 稲田 明理「膵β細胞の分化・成熟・増殖とその制御因子
～糖尿病モデルマウスにおけるβ細胞再生誘導の
細胞生物学的研究」

○理事長声明

○会長講演 「糖尿病」のない世界を目指して—糖尿病学の挑戦—

○特別講演 新興・再興感染症との戦いの過去・現在・未来と日本のサイエンス

Defining the Molecular Basis of Insulin Resistance in Human
Type 2 Diabetes Using Disease-in-a-Dish Models
ヒューマンオルガノイドを用いた代謝疾患研究

○会長特別企画 What is diabetes?

糖尿病とともに生活する人々の声をきく:

「何が、私たちをそれほどまでに悩ませるのか？」

「社会・生活の中で当事者が感じている課題とは？」

「私たちが願う 新しい治療への期待」

- シンポジウム46 題
- 教育講演20 題
- AASD/JDI モーニングセミナー
- 災害時の糖尿病診療支援と糖尿病対策推進会議の活動
- EFSD との交換留学制度の報告会
- キャリアデベロップメント報奨金の成果報告会
- 第 7 回若手研究助成金成果報告会.....9 題
- 若手研究奨励賞(YIA:Young Investigator Award)審査口演 14 題
- 医療スタッフ優秀演題賞 審査口演 13 題
- 先進医療機器により得られる新たな血糖関連指標に関するコンセンサスステートメント【オンデマンド配信】
- 一般演題 :1,365 題

2. 第 59 回「糖尿病学の進歩」

世話人: 益崎 裕章(琉球大学)

会期: 2025 年 1 月 24 日(金)-25 日(土)

会場: 那覇文化芸術劇場なは一と、ホテルコレクティブ、ホテル JAL シティ那覇、
那覇市ぶんかテンブス館、桜坂劇場

オンデマンド配信: 2025 年 2 月 10 日(月)-3 月 10 日(月)

参加者: 3,389 名

3. 地方会活動

1) 第 58 回日本糖尿病学会北海道地方会

会期: 2024 年 10 月 6 日(日)

会場: OMO7 旭川 by 星野リゾート

会長: 野本 博司(旭川医科大学)

参加者: 370 名

2) 第 62 回日本糖尿病学会東北地方会

会期: 2024 年 11 月 2 日(土)

会場: 仙台国際センター

会長: 片桐 秀樹(東北大学)

参加者: 685 名

3) 第 62 回日本糖尿病学会関東甲信越地方会

会期: 2025 年 2 月 8 日(土)-9 日(日)

会場: ライトキューブ宇都宮

会長: 麻生 好正(獨協医科大学)

参加者: 2,273 名

4) 第 98 回日本糖尿病学会中部地方会

会期: 2024 年 9 月 14 日(土)-15 日(日)

会場: 金沢市文化ホール

会長: 熊代 尚記(金沢医科大学)

参加者: 730 名

5) 第 61 回日本糖尿病学会近畿地方会

会期: 2024 年 10 月 26 日(土)

会場: 大阪国際会議場

会長: 豊田 長興(関西医科大学)

参加者: 1,490 名

6) 第 62 回日本糖尿病学会中国・四国地方会

会期: 2024 年 12 月 6 日(金)-7 日(土)

会場: 岡山コンベンションセンター

会長: 和田 淳(岡山大学)

参加者: 1,061 名

7) 第 62 回日本糖尿病学会九州地方会

会期: 2024 年 10 月 25 日(金)-26 日(土)

会場: アクロス福岡

会長: 田尻 祐司(福岡輝栄会病院)

参加者: 1,819 名

4. 年次学術集会・糖尿病学の進歩・地方会の管理・運営

本学会が主催する年次学術集会の運営について日本コンベンションサービス株式会社と長期契約を締結していたが、当該契約が第 68 回年次学術集会をもって満了となる。今後の運営委託に関して理事会にて協議した結果、当面は運営委託先について年度(各会)ごとに年次学術集会運営委員会での選考を行い、会長において最終決定すること／今後の各会の運営委託において長期契約締結時との差異について評価することとした。また、「糖尿病学の進歩」および各支部の地方会においても適宜準備状況報告・開催報告を受けている。

5. 支部長会活動

2025 年 1 月 23 日に沖縄(ホテルコレクティブ)にて第 13 回定例支部長会が開催された。

6. 分科会活動

1) 第 39 回日本糖尿病合併症学会

会期: 2024 年 10 月 4 日(金)-5 日(土)

会場: つくば国際会議場

会長: 島野 仁(筑波大学)

参加者: 1,162 名

2) 第 38 回日本糖尿病・肥満動物学会年次学術集会

会期: 2025 年 3 月 28 日(金)-29 日(土)

会場: ニューオータニイン札幌

会長: 中村 昭伸(北海道大学)

参加者: 150 名

Ⅲ. 会誌、研究報告、研究資料及び図書の刊行(定款第 5 条 第 3 号・第 6 号)

1. 会誌

「糖尿病」: 13 回発行

第 67 巻 4 号-第 68 巻 3 号(含、第 67 巻付録:第 67 回年次学術集会抄録号

「Diabetology International」: 4 回発行

Vol.15・No.2, 3, 4 / Vol.16・No.1

2. 糖尿病患者向け指導書

- 1) 糖尿病治療の手びき 2023(改訂第 58 版増補)…………… 増刷なし
- 2) 糖尿病食事療法のための食品交換表 第 7 版…………… 35,000 部発行
- 3) 糖尿病性腎症の食品交換表 第 3 版……………1,000 部発行
- 4) 糖尿病食事療法のための食品交換表 活用編 第 2 版…………… 増刷なし
- 5) カーボカウントの手びき……………500 部発行

3. 医師および医療スタッフ向け指導書

- 1) 糖尿病診療ガイドライン 2019…………… 増刷なし
- 2) 糖尿病診療ガイドライン 2024…………… 8,000 部発行
- 3) 糖尿病治療ガイド 2022-2023…………… 増刷なし
- 4) 糖尿病治療ガイド 2024…………… 80,000 部発行
- 5) 糖尿病専門医研修ガイドブック 改訂第 9 版…………… 2,000 部発行
- 6) 内分泌代謝・糖尿病内科領域専門医研修ガイドブック…………… 増刷なし
- 7) 医療者のためのカーボカウント指導テキスト……………600 部発行
- 8) 糖尿病医療者のための災害時糖尿病診療マニュアル…………… 増刷なし
- 9) 糖尿病医療者のための災害時糖尿病診療マニュアル 2024…………… 3,000 部発行
- 10) 高齢者糖尿病診療ガイドライン 2023…………… 増刷なし
- 11) 高齢者糖尿病治療ガイド 2021…………… 増刷なし
- 12) 小児・思春期糖尿病コンセンサス・ガイドライン…………… 増刷なし
- 13) 小児・思春期糖尿病コンセンサス・ガイドライン 2024…………… 3,000 部発行
- 14) 小児・思春期 1 型糖尿病の診療ガイド…………… 増刷なし
- 15) 糖代謝異常者における循環器病の診断・予防・治療に関するコンセンサスステートメント…………… 増刷なし
- 16) 日本人の肥満 2 型糖尿病患者に対する減量・代謝改善手術に関するコンセンサスステートメント…………… 増刷なし
- 17) 統合失調症に合併する肥満・糖尿病の予防ガイド…………… 増刷なし
- 18) 糖尿病療養指導の手びき 改訂第 5 版…………… 増刷なし
- 19) 糖尿病学用語集 第 3 版…………… 増刷なし

Ⅳ. 糖尿病専門医制度に関する事業(定款 第 5 条 第 4 号)

- 1) 学会専門医、研修指導医、認定教育施設の認定
専門医(内科:旧制度 84 名 新制度対象者 154 名)238 名、専門医(小児科)5 名、研修指導医 109 名、認定教育施設(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)16 施設、教育関連施設 8 施設、連携教育施設(小児科)2 施設の認定承認を行った。
- 2) 学会専門医、研修指導医、認定教育施設等の更新認定
専門医 1,288 名、研修指導医 611 名、認定教育施設(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)115 施設、教育関連施設 10 施設、連携教育施設(小児科)2 施設の更新認定の承認を行った。

- 3) 新専門医制度：内分泌代謝・糖尿病内科領域について
専門医試験合格者 223 名、領域(暫定)指導医 225 名の承認を行った。

V. 内外の関係団体等との連絡および提携(定款 第 5 条 第 5 号)

1) IDF, IDF-WPR

IDF Congress は 2025 年 4 月 7 日～10 日(タイ、バンコク)に開催される。それに伴い IDF-WPR の Chair である門脇理事の任期が 2025 年 4 月まで延長された。

2) EASD

第 12 回 East-West Forum が 2024 年 9 月 12 日に 60th Annual meeting of EASD (マドリッド)にて開催された。

3) EFSD

2024 年度の日欧交換留学プログラムは、選考の結果、宮 愛香会員(北海道大学病院)1 名への助成を決定した。

4) KDA

次回の Japan-Korea Diabetes Forum は 2025 年 5 月に The KDA spring annual meeting in Gyeong-ju にて開催予定である。

5) AASD

The 16th AASD Scientific Meeting は 2024 年 8 月 15 日～17 日にウランバートル(モンゴル)で開催された。

Travel Grant の財源として、日本の受賞者 5 名分の資金を大会へ支援した。

The 17th AASD Scientific Meeting は 2025 年 3 月 28 日～30 日にタイペイ(台湾)で開催された。

インスリンの安定供給に関するラウンド・テーブル・ディスカッションが開催され、植木理事長、門脇理事、矢部監事が参加し、アジア各国と課題解決に向けて議論を重ねた。

6) 第 60 回全国糖尿病週間の共催

期間： 2024 年 11 月 11 日-17 日

テーマ： みんなで正しく理解しよう「ダイアベティス」

7) 日本糖尿病協会(JADEC)への協力

8) World Diabetes Day 関連活動の実施

9) 糖尿病腎症合同委員会

10) 膵臓移植中央調整委員会

11) 糖尿病医療の情報化に関する合同委員会

12) 糖尿病と癌に関する合同委員会

13) 日本肝臓学会・日本糖尿病学会合同委員会

14) 日本糖尿病・妊娠学会との合同委員会

15) 高齢者糖尿病の診療向上のための日本糖尿病学会と日本老年医学会の合同委員会

16) 日本循環器学会・日本糖尿病学会合同委員会

17) 診療録直結型全国糖尿病データベース事業(J-DREAMS)合同委員会(国立健康危機管理研究機構)

18) 日本糖尿病理学療法学会と日本糖尿病学会との実務担当者会議

19) 日本人の肥満 2 型糖尿病患者に対する減量・代謝改善手術の適応基準に関する 3 学会合同委員会(日本肥満症治療学会・日本肥満学会・日本糖尿病学会)

20) 肥満症治療薬の安全・適正使用に関する合同委員会

(日本肥満学会・日本内分泌学会・日本肥満症治療学会・日本糖尿病学会)

21) 先進糖尿病テクノロジーに関する研修合同委員会(日本糖尿病インフォマティクス学会)

VI. 国民に対する糖尿病診療に関する情報の提供および啓発(定款 第 5 条 第 6 号)

1. 糖尿病対策事業

- 1) 糖尿病対策推進会議への参画
- 2) 対糖尿病戦略 5 ヶ年計画作成委員会
- 3) 「健康日本 21」の糖尿病対策検討委員会
- 4) 糖尿病データベースの構築委員会
- 5) 糖尿病腎症重症化予防への取り組み

2. 第 67 回日本糖尿病学会年次学術集会 (2024 年 5 月 17 日-19 日)

- 1) 会長特別企画「糖尿病とともに生活する人々の声をきく」
- 2) 高校生対象特別プログラム
- 3) Morning RUN & WALK 2024 in Tokyo (5 月 19 日)

3. アドボカシー合同委員会活動(日本糖尿病学会・日本糖尿病協会(JADEC) 合同)

VII. その他本会の目的を達成するために必要な事業(定款 第 5 条 第 7 号)

1. 功労賞および研究奨励・研究業績の顕彰

以下の各会員に授与した。

- 1) 坂口賞: 野田 光彦、松葉 育郎、松山 辰男、山田 研太郎

2) 学会賞

ハーゲドーン賞: 小川 渉 (インスリン抵抗性を軸とした糖尿病研究)

リリー賞: 高原 充佳 (糖尿病合併症としての末梢動脈疾患の臨床像と病態の解明)
長尾 元嗣 (新規糖尿病モデルマウスの開発による
2 型糖尿病の病態生理の解明)

女性研究者賞: 稲田 明理 (膵β細胞の分化・成熟・増殖とその制御因子
～糖尿病モデルマウスにおけるβ細胞再生誘導の細胞生物学的研究)

3) 第 14 回若手研究奨励賞(YIA)

井上 朋也 (機械刺激感受性イオンチャネル Piezo1 を介した筋肥大制御機構の解明)
岡川 章太 (褐色脂肪活性化を誘導する生理活性因子の分子機序の解明)
木戸 希 (膵β細胞における mTORC1 活性化が膵島可塑性に及ぼす影響の検討)
清水 順也 (高時間分解能レポーターマウスおよび single-cell RNA sequencing を
組み合わせたα細胞の時間的不均質性に関する解析)
堀内 嵩弘 (肝糖新生は基質選択的に低強度および高強度走行の運動能に影響を及ぼす)

4) 第 10 回若手研究助成金

■ 基礎部門

磯谷 亮輔 (代謝シグナルによる幹細胞制御解明とその疾患への応用)
角 朝信 (脂肪組織常在性マクロファージの統合的理解による創薬シーズ創出)
霍田 裕明 (scRNAseq を用いた絶食応答を標的とした新規 DKD 治療標的の探索)

徳本 信介 (高脂肪食負荷時に空腹時血糖を改善させる未知因子の解明)
長尾 博文 (肥満・糖尿病病態における内分泌因子としてのエクソソームの機能と
T-カドヘリンの新規作用機構の解明)
MUHAMMAD FAUZI (小胞体カルシウム放出関連分子に着目した
インスリン分泌・肝糖新生調節機構の統合的解明)
三浦 絵美梨 (クローン性造血と糖尿病性神経障害)

■ 臨床部門

川田 哲史 (免疫チェックポイント阻害薬投与に伴う1型糖尿病の発症メカニズムの解明と
血中可溶性PD-L1に着目した1型糖尿病発症予測ならびに癌治療効果予測)
三小田 亜希子 (本邦の妊娠糖尿病の病態解明と効果的な治療戦略の構築)
中野 雄二郎 (ヒトにおける膵 α 細胞インスリン抵抗性の評価法確立と臨床的意義の解明)

5) 第8回医療スタッフ優秀演題賞

飯田 秀人 (理学療法士による外来運動指導の長期的効果の検討)
柿原 稔永 (短期安静臥床期間での筋機能変化から考える運動療法の重要性)
鈴木 康裕 (SGLT2阻害薬およびGLP-1受容体作動薬が
2型糖尿病患者の転倒に与える影響についての検討)
眞鍋 朋誉 (サルコペニアを有する高齢2型糖尿病患者における歩行時関節可動域の検討)
三宅 健文 (National DataBase
オープンデータからみた経口糖尿病薬処方の経年変化の解析)

6) 第4回 DI Best Impact Award

細見 由佳子 (The effect of COVID-19 pandemic on the lifestyle and glycemic control in patients with type 1 diabetes: a retrospective cohort study)

7) 第4回キャリアデベロップメント報奨金

原田 範雄 (インクレチンの産生・分泌制御を基盤とした糖尿病治療の研究・開発)
藤田 征弘 (グルカゴン関連ペプチドの細胞生物学的・生理学的・疫学的な網羅的探索から
糖尿病の病態を再考する)

8) 第2回 Advanced Postdoctoral Fellowships(日本糖尿病学会 特別研究員)

井上 朋也 (Ca²⁺チャネル Piezo1 の発現制御機構を標的とした
筋量制御薬の開発に関わる研究)
河田 慶太郎 (可溶性 T-cadherin の受容体同定と臓器保護機序の解明
～糖尿病の成因と合併症に対する治療応用を目指して～)